

【岐阜高専】大阪・関西万博に出展

本校は、令和7年9月21日（日）から23日（火）の3日間、大阪・関西万博に一般参加催事として出展しました。万博協会では一般参加催事として社会課題の解決などに関わる企画などを募集しており、全国から多数エントリーされた中から審査を経て出展が決まりました。

期間中は「岐阜高専発！科学でひらく未来と地球—つくる・さわる・まなぶ—」と題してイベントを開催、アウトリーチ活動の一環として、学生が学んだ科学や技術について、作製した教材や資料を用いて発表をおこないました。イベント参加者からは「学生の説明が分かりやすく、科学に親しみを持つことができた」というような感想が寄せられ、多くの来場者に支えられて盛況のうちに終了しました。イベントの主な内容は以下のとおり。

- ・「LED プラネタリウム工作」 半導体微細加工技術を理解できる、フォトリソグラフィで作成した原板を用いた工作の実施
- ・「環境放射線ワークショップ」 雷雲プロジェクトの放射線検出器を用いた放射線計測の実演、宇宙線空気シャワーのVR動画による最前線科学の体験
- ・「南極隊での活動紹介」 本校教員が参加した第66次南極地域観測隊による宇宙線観測の紹介&南極の氷の展示

また、出展に先立ち、9月18日（木）には岐阜県庁を訪問、イベントでの出展内容等について、江崎禎英岐阜県知事に学生たちが直接説明をおこないました。江崎知事からは「何となく分かっていることの裏側に本質が眠っている。ぜひ世界の真理を追究してほしい」とのエールをいただきました。



万博出展の様子



江崎知事を表敬訪問（岐阜県庁にて）